

おてんとさん通信

おてんとさん発電所12号機 あいの家にぎわいハウス 市民共同発電所完成！

奈良県東吉野村の『あいの家にぎわいハウス』市民共同発電所が、2025年6月に完成し、6月29日に祝う会を開催しました。

クリーンなエネルギーを産み出す蓄電池付き発電所は地域の防災拠点を目指します。

蓄電池付き太陽光発電システム

奈良県令和6年度事業所エネルギー効率的利用推進事業補助金事業

蓄電池10.0(kWh)

太陽光パネル8.01(kW)

総事業費（啓発費含む）約340万円

資金 奈良県補助金、

東吉野村まちづくりNPO自己資金、
市民寄付金、おてんとさん支援金

完成を祝う会（6月29日）

東吉野村村長水本実様、東吉野村議会議長丸井雅弘様、日本財団福田英夫様、西本設計西本成志様、山本工務店山本吉治様、奈良県脱炭素・水素社会推進課長芳川一宏様ほかご来賓の皆様、ご寄付を頂いた方々、あいの家利用者や職員、ならこーپ、協同福祉会、サークルおてんとさんなど、村内や村外から132名のご出席を頂き完成を祝いました。



参加者の皆さんと記念撮影



点灯の瞬間



太陽光パネル



蓄電池

気候危機「臨界点」は間近か

2025年は、昨年に続き記録的な暑い夏になりました。2023年秋から米不足になり、日本中が大騒ぎとなり、食料と温暖化問題を結び付けて考える国民も多くなっています。

2024年は、産業革命前からの世界の平均気温上昇がはじめて単年度で1.5度を超えてしました。パリ協定の長期目標は、20~30年の平均気温上昇を指すので、単年度で1.5度を超えたといっても、パリ協定の目標が達成できなくなったということではありません。しかし1.5度に気温上昇を抑えることがますます難しくなってきていることは確かです。気候変動枠組条約帝国会議（COP30）期間中に発表された、11月9日までに提出の各国削減目標（NDC）を足し合わせても、2035年時点で2019年比12%減少にとどまっています。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によると、1.5度目標達成に必要なのは、2035年に60%減（2019年比）。まだはるかに足りていません。

再エネの出力抑制や資材高騰で再エネ投資に逆風が吹く中、ガマンでない省エネとして建物の断熱化の啓発に県内の他団体と連携して取り組み始めています。より実効性のある対策を求めたいと思います。

理事長 清水順子

第12回（2025年）総会

開催日時：2025年5月28日（水）
10:15～12:00

場所：プロム近鉄奈良駅前

出席者数：正会員25名（33名中）

（実出席11、委任表決者3、書面表決者11）

第1号議案 2024年度事業報告及び報告承認の件

第2号議案 2025年度事業計画（案）及び活動予算（案）承認の件

報告及び提案した議案はすべて承認されました。



総会

決算報告等はおてんとさんホームページに掲載